山梨県 Yamanashi Prefecture

Press Release

YAMANASHI

令和8年11月27日
山梨県 森林環境部 自然共生推進課
課長 土橋 正幸
電話 055-223-1520 (内線 6500)

報道関係者各位

県内におけるセアカゴケグモの確認について

特定外来生物に指定されている「セアカゴケグモ」が県内で確認されました。
県内でのセアカゴケグモの確認は９例目となります。

1例目	H26.11	甲州市(1匹)	2例目	H27.8	富士吉田市(1匹)
3例目	R5.4	山梨市(1匹)	4例目	R6.3	笛吹市(2匹)
5例目	R6.12	甲府市(1匹)	6例目	R8.8	甲府市(1匹)
7例目	R8.9	甲州市(1匹)	8例目	R8.10	市川三郷町(1匹)
9例目	R8.11	市川三郷町(1匹)			

１　経緯

- 令和８年１１月２１日（土)、８例目の発見場所と同じ市川三郷町内の車両置場において、保管されていた車両から、セアカゴケグモに似たクモが３匹発見され、車両の所有者から、２６日（木）１５時頃に峡南林務環境事務所へ通報がありました。
- 同２６日（木)、峡南林務環境事務所が発見場所及びその周辺の調査を実施したところ、セアカゴケグモに似たクモをさらに１匹発見しました。
- 発見されたクモは全て発見時に駆除されました。
- ２７日（金）１０時、県衛生環境研究所によって、４匹のうち、２１日（土）に発見された１匹がセアカゴケグモであると確認されました。なお、同時に発見された他の３匹は別種のクモであり、咬傷者は確認されていません。

２　対応状況

- 峡南林務環境事務所で発見場所及びその周辺の調査、消毒を実施しました。

３　発見時の注意事項

- セアカゴケグモは攻撃性はないとされていますが、毒があり咬むことがありますので素手では触らないようお願いします。
- 駆除をする場合は、咬傷事故を防ぐため、必ず「厚手」の軍手等の手袋や靴下を着用するようお願いします（ビニール手袋では防止できない場合があります)。成虫の駆除には家庭用殺虫剤が有効です。成虫や卵を踏み付けることでも駆除できます。
- セアカゴケグモを発見した場合には、発見した場所の市町村または、管轄区域の林務環境事務所にご連絡ください。
- セアカゴケグモであることの確認には専門機関による同定を要するため、判定結果が出るまでに数日を要する場合があります。

次ページへ続く

連絡先　・発見した場所の市町村
・発見場所の市町村を管轄する各林務環境事務所

相談窓口	所在地	電話番号	管轄区域
自然共生推進課 自然保護担当	甲府市丸の内 1-6-1	055-223-1520	県下全域
中北林務環境事務所 環境・エネルギー課	韮崎市本町 4-2-4	0551-23-3087	甲府市、甲斐市、中央市、昭和町、北杜市、 韮崎市、南アルプス市
峡東林務環境事務所 環境・エネルギー課	甲州市塩山 上塩後 1239-1	0553-20-2720	山梨市、笛吹市、甲州市
峡南林務環境事務所 環境・エネルギー課	西八代郡市川三 郷町高田 111-1	055-240-4140	市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町
富士・東部林務環境事務所 環境・エネルギー課	都留市田原 2-13-43	0554-45-7810	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、 富士河口湖町、西桂町、道志村、忍野村、 山中湖村、鳴沢村、小菅村、丹波山村

受付時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで（土・日曜日、祝日、年末年始の休日を除く。）

参考）セアカゴケグモについて

１　概要

- 特定外来生物に指定されているクモで、主に建物の外壁、側溝のふた裏、プランター周辺などの人工構造物に営巣する。
- 国内では平成７年に大阪府で初めて確認されて以降、西日本を中心に分布が拡大しており、現在は各地で確認されている。

２　特徴

- メスの体長は約０.７～１.０cm（脚を除く）。
- 全体的に黒色で、腹部背面に赤色の帯状模様がある。
- オスはメスより小型で、腹部の模様が異なる。
- 毒を有するのはメスであり、オスの毒性は極めて弱く、人への健康被害はないとされている。

今回発見された個体

